

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamaadai/>

「第2回文化祭」 文化祭テーマ～「残花」～

校長 藤 至光

皆さん、おはようございます。

いよいよ文化祭が始まります。コロナ禍のなか、様々な制約を受けながら、限られた期間で準備をしてきた文化祭実行委員の皆さん及び、ご指導いただいた先生方に、心からお礼を申し上げます。

また、文化祭実行委員以外の皆さんもそれぞれクラスや部活の分担に従って協力してきているものと思います。今年の文化祭を成功させるために、引き続き全員の協力が必要です。思い出に残る第2回文化祭にするためにも、最後までよろしくお願いします。

さて今年は、「美しい花が咲き残るように、文化祭で素晴らしい発表を残そう」という願いを込めて「残花」というテーマを設定しています。

残るものには、形がある有形のものとは形がない無形のものがあると思います。今回君たちが挑戦した、各教科の作品やスピーチ、モジュール折り紙や動画制作などは形として残るものです。また、それらの作品をつくるために努力したこと、仲間から賞賛されたことなどは形には残りませんが、きっとそれぞれの心に残るはずです。努力が報われたり、誰かに感謝されたりといった何かに取り組んで目標を達成した時に得られる成功体験や「嬉しかったり」「悔しかったり」した思いや感動といったものが、自分の心に積み重なってより良い自分を形成していくのだと思います。

反対に、嫌な思いばかりが心に積もっていくと、人を信じられなくなったり、生きていくこと自体に意味を見出せなくなったりしてしまうかもしれません。

そう考えると、学校行事は、一人ではできないことでも仲間と一緒に取り組み、そのかわりの中で、「すごいじゃん」って褒められたり、「がんばっているね」と認めてもらえたりして、達成感や感動を心に貯金することができる場所にその価値があるのだと思います。

これまでの準備、今日の本番を通じて、先輩や後輩、頑張ってきた仲間から心から拍手を贈って、その気持ちをメッセージカードに込めてもらえたら嬉しいです。

みんなの心に残る花を咲かせましょう。

